

共 産 党 再 要 望 項 目 一 覧

平成26年度9月補正(追加提案)分

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
1 米価暴落対策 ①国に過剰米の生産調整と、減額されたコメ交付金を元に戻すよう求めること。	米価下落の一番の原因は在庫過剰であり、適正な需給調整と米価の安定化による農家の収入確保に取り組むよう国に要望する。米の直接支払交付金の減額分の復活に係る国への要望については、現時点では考えていない。
②県独自に、米価直接補填をすること。	米の需給調整と米価の安定化は国の責務であり、県独自の支援制度の創設は考えていない。
③コメ農家が現在借りている農機具購入貸付資金の返済猶予を求めること。	事業実施主体であるJAグループに伝える。
2 赤潮対策 ①被害にあったカキ・アワビ等の稚貝購入費助成率を更にあげること。	アワビ・サザエの助成率に関しては、平成18年中部海域で発生した赤潮被害の支援スキームと同様、9月補正により1/6の嵩上げ補助を検討しているところであり、これ以上の嵩上げは考えていない。
②赤潮解消の防除剤散布の際に使った漁船の燃油代、人件費を助成すること。	赤潮防除については、平成18年に県と漁協等で作成した防除マニュアルに沿って、漁業者自らが防除作業に取り組むこととしている。
③稚貝購入費1/2助成制度が廃止されると聞いたが、同率での助成を継続すること。	関係者の声を聞いて当初予算の中で検討したい。